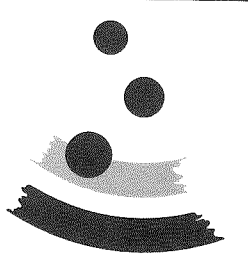


発行所 片貝新聞社
〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4
TEL 0258-84-3246
FAX 0258-84-2632
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷(株)
題字 黒崎敬渌氏



JA片貝町 シンボルマーク
天の恵み地の恵み

広井市長の民主々義逸脱許せぬと
リコール運動着々と進む

注目される9月定例市議会

広井一市長の政治姿勢を巡り、批判や不満の声が日に日に高まってきたが、遂にリコール運動が起り、署名は順調に集まり、20日現在既にリコール成立の3分の1を突破した。

リコール運動は市民団体の「市政の正常化を求める会」(小池和明会長)が、12日に立ち上がった。同会は各層の市民有志が主体で、それに世間で良識派と呼ばれる市議会の多数派野党の十数名が、市議会でルールにのっとった形で、市長の脱線行為を正すのは万策尽きたとしてこれに加わり、

事実上の頭脳部分を担っている。また、十分な証拠を示されず、一方的な形でいれなき指名停止処分を受けた建設業者の役員、従業員も駆けつけている。300名を超える受任者が市内全域で署名活動を展開したところ、感服良好で僅か一週間で3分の1に達し、その後最低でも1割は署名は確実に規定の1カ月間ぎりぎりまで実施したら、有権者の過半数に達することも確実な状況となっている。

「市政の正常化を求める会」が、市選挙管理委員会に提出した「小千谷市長広井一解職請求書」による解職請求の理由として、(一)条例で定めのある助役・収入役の選任を未だ怠っているのは、行政組織の軽視であり、助役を空席にしておくことにより、市長自身に権限が集中する結果になり、公正であるべき指名審査委員会も形骸化しています。また、出納事務の厳正独立性の認識も薄いものと思われ、市長が市民に選任しない理由を明らかにしていません。

「(二)市長は、議決した予算を執行する義務があるにもかかわらず、指摘しているのは、地方自治法に違反している行為を正すべきだというところであって、前回市長選挙の怨念だとか建設業者の腹いせなどといった次元の低い問題ではない。故意にこのことに焦点を絞って市民を惑わす

もかわらず、自分の立場に固執し、議会の議決を無視しています。これは民主主義に反する行為であり、議会制民主主義の否定であり、

以上を具体的に明らかにしている。市長の小池和明氏は東栄に住む獣医師。副会長には小紙編集発行人、吉原印刷社長の吉原芳郎氏、元町で食料品店を営む和田凱士氏の二人が就いた。

片貝の市議団の動きは、閉会中の市長であるので表立った行動はひかえているようだが、安達裕市議の正常化を求める会に加盟している。小林光紀市議は、小千谷新聞のコメントを見る限りでは、リコールに批判的な立場を取っている模様。

リコール運動が着々と進む中、広井市長の去就が注目される。政治家としてきりぎりす片貝市に、近づく9月定例市議会、多数派野党がどこまで追及できるかも焦点のひとつ。

市長解職請求

九月の声を聞く片貝人の血が騒ぐといわれる。片貝まつりもあと数日に迫った。このまわつりと違つて今年はずつと金の集まりが悪いといふこともなく正常に町民の総力を結集し、淡々と行事をすすめている。

正常でないのは現在の小千谷市政で、今回行なわれている広井市長に対する解職請求は既にリコールに必要な三分の一を超え、さらに上積み中心

斎藤氏が述べているように「談合」や「中学校的給食設置」というような個別の問題ではなく自由民主主義の根幹にかかわる問題であつて、はき違えてもらつては困るが、個人的に広井市長さんはいい人だとかどうとかの問題ではないのだ。議員や多くの人たちが

主張

行は、逆に市政を混乱させることになる。市民の頂点に立つ市長が唯我独尊を決め込み、断行の態度をとること、一部の取り巻きや関係者にとっては都合がよ

残念なことはこれら一連の運動にたいし反省するどころか、逆に市政を混乱させる不逞の輩のよ

は一体どういふことなのか。誰が好き好んで相手の嫌がることに手間暇かけてやるものか、そりなりの理由があり信念があるからこそ、多くの共感者を得られたもの

商工会がビッグサービスデー

片貝商工振興会(遠藤充会長)では、片貝祭り協賛サービスのビッグサービスデーを9月4日(金)開催する。この日各店営業開始時間より午後8時30分まで、片貝商店街での買物に対し、各店舗ごとの基準で抽せん券を発行、午後5時から8時

盆踊り大会盛況

恒例の盆踊り大会が、8月15日(土)16日(日)悪天候のため中止。午後8時から浅原神社境内で賑やかに繰り広げられた。今年も天候にめぐまれず例年よりは人出は少なかつたものの、チーム対抗盆踊りコンテスト(1チーム10名以上)6チームの参加があり、ヤヨイ大学民踊部が昨年に引き続き優



流しチームには審査員特別賞が贈られた。又町民仮装大会には6チームが参加し、今年も優勝旗は茶畑ちどり会の手にわたされ、二年連続となった。

ドッチボール大会

J A片貝町(友田明石組)主催の第3回J Aふれあいドッチボール大会が、8月9日(日)片貝中学校体育館で開催された。午後1時から受け付け、1時45分から開会式が行なわれ、2時から競技開始となった。参加チームは昨年と同じく男子は十一チーム、女子は五チーム、男子は二



グランドに分かれ予選リーグ戦を行ない、上位二チームずつ四チームが決勝トーナメント戦を行ない五之町チームが優勝、女子は五之町チームによるリーグ戦で四尺玉クイーンズ(二之町・茶畑)が三連覇。成績は次のとおり。

かたかい春秋

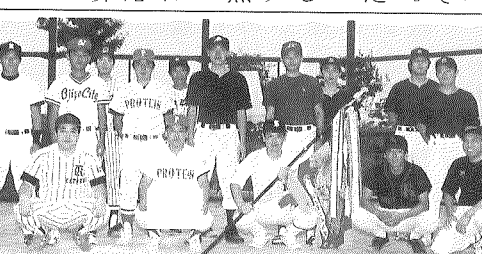
遂に炸裂!片貝花火のことで、市民のこころを逸脱したものである。市長のリコール運動のことで、一部では、昨年の市長選挙の際に固執、議会の議決を無視したことは、まさに民主主義を軽視した。一部の市民を叫ぶ人達は、本質を捉えていないか、あるいは声をあかすも多数の市民の意向のように語り、分」と決めた以上、政治家としての責任を明確にするのが常道であろう。▼評価されている福祉行政にも不公平さが目立つ。すべ

お盆野球大会

第43回お盆町内対抗野球大会(主催:片貝町体育協会)が8月15日(土)午前8時から二会場で開催された。片貝中学校グラウンドでは一之町チームが片貝中学校チームを9対1、三之町チームが6対0で勝利した。片貝スポーツ広場では町裏チームが四之町・五之町二之町連合チームを4対1で勝利した。決勝戦では一之町チームが熱戦の結果、昨年度優勝の町裏チームを3対2で破り10年ぶりの優勝を飾った。優勝チーム(一之町、写真)のメンバーは次のとおり。

今年も人気巨人戦ツアー

片貝町のジャイアンツ有志で組織の「長嶋ジャイアンツ応援グループ」は、8月8日東京ドームでの巨人VS中日戦観戦ツアーを行なった。今年で8回目の観戦ツアーは、すっかり人気定着、夏休みの恒例行事として親子で参加など多数。主催者は「フラチナペー」と呼ばれる入場券求めて大わらわだったとのこと。あちこちに依頼して集めた入場券は75枚。大型観光バス一台と自家用車に分乗してドーム入り、ライトスタジアムでメガホン持って、熱狂的な応援を繰り広げた。結果は3対1で中日の勝ち。これで片貝勢が応援に駆けつけた試合の通算成績は6勝2敗となった。主催者は「子供達が喜んでいるので、来年も継続し



優勝片貝防犯連絡協議会監督佐藤正美(屋敷)、西沢博明(寺町)、佐藤雅則(四之町)、丸山信一(町裏)、久賀透(寺町)、丸山賢一(茶畑)、相崎敏(稲場)、黒崎仁(町裏)、吉原章(寺町)、丸山英男(寺町)、佐藤公一(寺町)、浅田誠(四之町)、野中基樹(四之町)、芝直樹(屋敷)、芝昭男(屋敷)、藤塚大輔(二之町)、相崎純(二之町)、太刀川孝記(茶畑)、金子等(五之町)、安達孝人(町裏)、石黒辰夫(池津)

▼大矢新治、小野塚光則、高島大樹、佐藤圭介、三重堀洋一、西沢博明、吉原勉、吉原晋、吉原章、佐藤公一、佐藤忍、佐藤三三、丸山英男、久賀透、吉原章二

